

令和3年度新型インフルエンザ等対策訓練実施結果(圏域毎)

圏域	実施日	構成員等	訓練内容	結果及び課題、考慮した点及び課題 ①改善した点(考慮した点) ②新たな課題 ③全体を通した評価
阪神南			新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし	
阪神北			新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし	
東播磨			新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし	
北播磨	4月30日	北播磨圏域新型インフルエンザ(新型コロナ含む)対策研修会、消防、健康福祉事務所 7名	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の特徴と疾病への理解 受け入れ病院と救急搬送(調整方法)について 	②在宅感染者からの救急要請は、救急から入院調整ができず、特に夜間は受け入れ病院がほとんど無いことから、救急車に收容したとしても何時間も搬送先が見つからない課題がある。
	6月23日	北播磨圏域新型インフルエンザ(コロナ含む)対策研修会 医療機関、健康福祉事務所 15名	<ul style="list-style-type: none"> 患者に診療、往診する際の医療従事者の感染対策 患者への処方等の注意点について、実技(実例)を混ぜながら研修を行なう。 	③感染した患者も必要時に医療を受けていただきたいが、実際は、感染症の患者を診察した経験の無い医療機関(診療所等)が多く、診療、往診にとまどう傾向がみられる。
	7月2日	北播磨圏域新型インフルエンザ(コロナ含む)対策研修会 訪問看護ステーション、医療機関、健康福祉事務所 30名	<ul style="list-style-type: none"> 陽性者の訪問看護の際の感染対策 患者への注意点について 訪問看護の重要性や陽性者訪問の体制作りについて研修を行なう。	③感染した患者に継続して訪問看護を実施することにとまどいやコロナ感染症に感染することへの恐怖がある。正しい知識と予防のを知ってもらい訪問看護を行なう必要がある。
中播磨			新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし	

圏域	実施日	構成員等	訓練内容	結果及び課題、考慮した点及び課題 ①改善した点(考慮した点) ②新たな課題 ③全体を通じた評価
西播磨	11月19日 11月22日	管内の訪問看護事業所、居宅介護事業所、訪問介護事業所の看護師・介護職員等	講話「感染症予防対策～コロナを正しく知るために～」 講師 当所感染症対策担当 講話・実地訓練 「個人用感染防護具の着脱方法を習得しよう！」 講師 感染管理認定看護師 城内 美紀 氏 ○ビデオ「COVID-19感染対策～PPE着脱方法～」 ○2人ペアになって互いに着脱訓練、質疑応答	③事前に、参加者に対して各事務所でのPPE着脱手順書作りについて説明していたため、実地訓練時には写真撮影や疑問点の確認等を行いながら積極的に参加できていた。アンケート結果では、「習得度合い」で86%が「習得できた」「ある程度習得できた」と回答。また、「コロナ患者宅への訪問」についても、「できそう」「2人ペアならできそう」が83%であり、正しい知識と技術をもって対応できそうという自信を得ることができていた。自由記載でも、「職場で一緒に考えたい、練習したい」という意見が複数あり、参加者自身の訓練に加えて、各事業での今後の活用にもつながる期待ができ、事前に講師と確認をしたねらいに概ね沿った結果であったと考える。当所もPPE着脱手順書を作成予定。
	11月18日	中西播磨4保健所及び管内医療機関(院内感染加算1及び基幹病院のICN)	会議室での参加及びオンラインの参加によるハイブリッド形式で開催。各保健所、各病院の新型コロナに対する取り組みと課題を事前に報告を受け情報共有し、各所から報告を受けた。	③電話でのやりとりはあるものの、各保健所や病院がどんなことで苦労をしているのかが理解できた。コロナ発生までは、毎年開催していたが、コロナの影響で2年間開催できていなかったため、参加者からは顔の見える存在になれて良かった。引き続き、開催を継続してほしいとの意見があった。
但馬	4月20日	公立病院医師、医師会員、健康福祉事務所職員、他 人数 約70人	「新型コロナウイルス感染症への但馬地域における治療の現状等について」 講師 公立豊岡病院呼吸器内科部長 中治仁志 氏	③病院医師、医師会員が大勢受講できるよう、開催方法をオンライン研修とした。内容は豊岡病院での治療の現状について講義いただいた。
	8月18日	市町保健師、病院看護師、訪問看護ステーション、各市町地域包括支援センター等 人数 152人	1 講義 「今後の新型コロナ感染症対策について」 講師 豊岡健康福祉事務所長 柳 尚夫 氏 2 実践報告 ①「今、あなたの地域で新型コロナウイルスの感染拡大がおきたら、どうしますか？～地域包括支援センターの立場から～」 講師 宍粟市地域包括支援センター所長 栗山早苗 氏 ②「新型コロナウイルス感染症の方で、自宅療養を余儀なくされた方の支援について～訪問看護の立場から～」 講師 宍粟市健康福祉部訪問看護ステーション 管理者 荒尾和美 氏	③多くの職種が参加できたが、支援体制の対策の議論までには至らなかった。
丹波	新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし			
洲本	新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし			